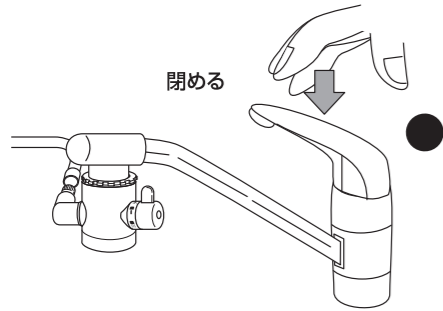
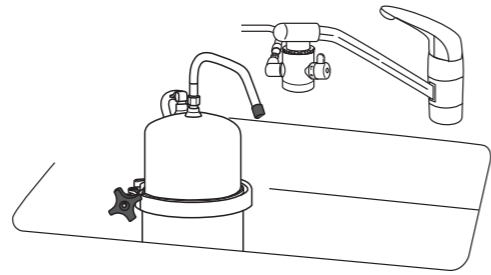


# 表 【カウンタートップタイプ】 マルチピュア浄水器 フィルターカートリッジ交換方法

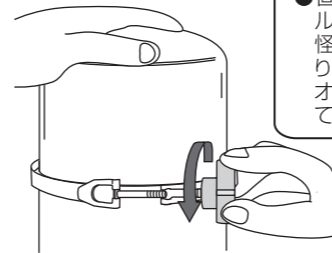
**1** 蛇口を閉める。  
水道水栓がしっかり閉まっていることを確認します。



**2** 本体を流し台の中に移動させる。

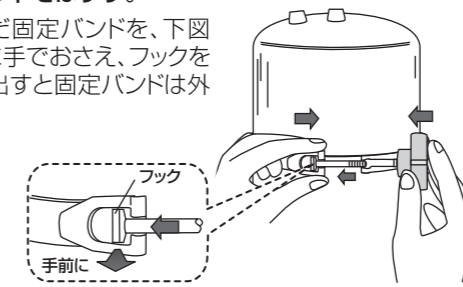


**3** 本体の固定バンドをゆるめる。  
固定バンドのハンドルを反時計回り(左回り)に回し、ネジを十分にゆるめます。



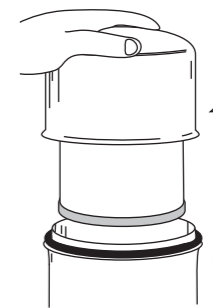
**注意**  
●固定バンドのハンドルが固い場合には、怪我をする恐れがありますので、軍手やタオル等で手を保護してください。

**4** 固定バンドをはずす。  
ゆるんだ固定バンドを、下図のように手でおさえ、フックを手前に出すと固定バンドは外れます。



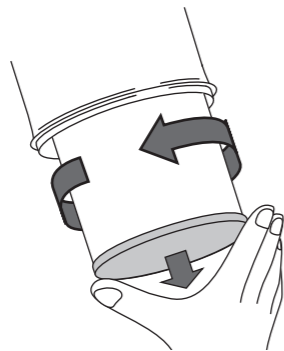
**注意** ●固定バンドを無理に広げないでください。

**5** 本体を上下に分割する。



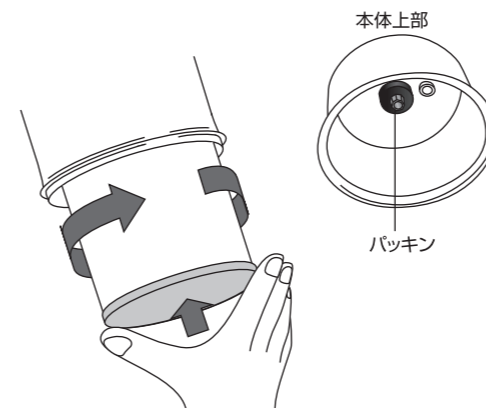
**注意**  
●容器を開ける際は、本体の中にたまった水がこぼれるのでカウンタートップタイプ、ビルトインタイプ-Aは必ず流し台の中に移動させてから開けてください。  
●ビルトインタイプ-Bは、浄水器本体の下に必ずボールを置いてから開けてください。

**6** フィルターカートリッジを取り外す。  
本体上部にセットされている古いフィルターカートリッジを反時計回り(左回り)に回し、取り外します。

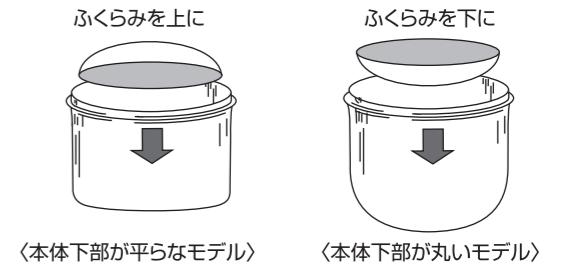


**7** 新しいフィルターカートリッジを取り付ける。  
フィルターカートリッジの包装をすべてはがして、本体上部内側にあるネジ部に時計回り(右回り)にゆっくとねじ込みます。固くなった所からさらに1/4回転程度回します。

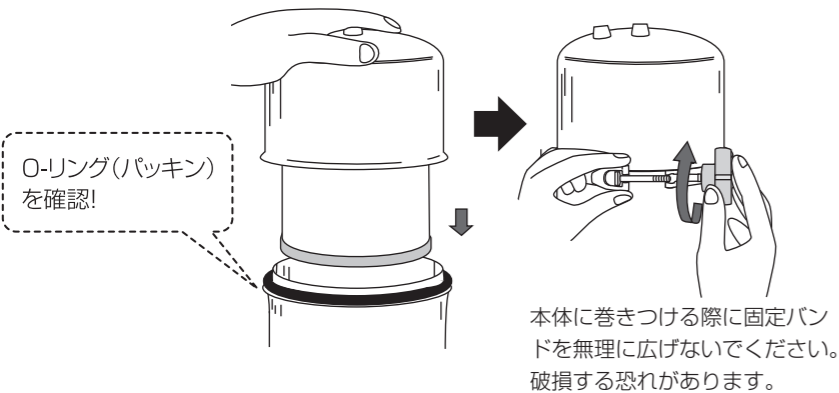
**注意**  
●新しいフィルターカートリッジを装着する際に本体上部の内側中央部のネジに黒いパッキンが装着されているかを確認してください。(本体によっては白色の場合もございます。)  
●フィルターカートリッジはまっすぐ締め込んでください。



**8** 活性化セラミックをセットする。  
[活性化セラミックを使用しているモデルのみ作業を行ってください。]  
活性化セラミックは、本体下部のふくらみの形状にあわせて、下図のように入れてください。



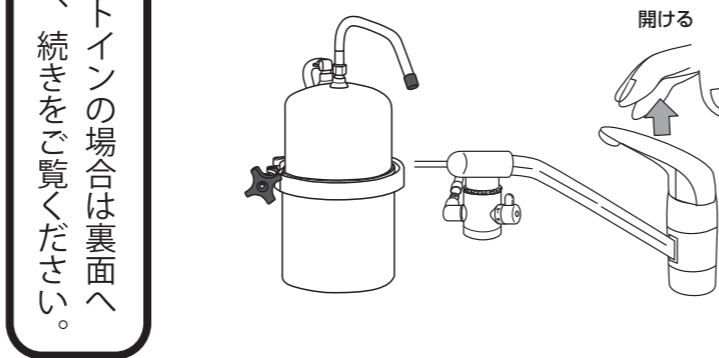
**9** 元通りに本体上下を合わせ、固定バンドを締める。



O-リング(パッキン)を確認!

本体に巻きつける際に固定バンドを無理に広げないでください。破損する恐れがあります。

**10** 本体を元の位置に戻し、蛇口を開ける。  
本体を元の位置に戻し、閉めた水道水栓を開けて通水させます。



ビルトインの場合は裏面へ戻り、続きをご覧ください。

**11** 20分以上通水させる。  
20分以上通水させて、内部にたまった空気を出すと同時に、フィルターカートリッジに水を浸透させます。

**注意**  
すべての接続部から水漏れがないか確認!  
(モデルによっては吐水口の形状が図と異なる場合もあります。)



**注意**  
フィルターカートリッジ交換後は水切れが悪くなる場合があります。使用経過にてフィルターカートリッジに浸水が進み、本体内部の空気が押し出されて軽減されていきます。本体や切り替えコックの故障ではありません。

## ご使用にあたって

- フィルターカートリッジを交換した後は、20分以上通水してからお使いください。
- 最初の通水時に、すべての接続部から水漏れがないか必ず確認してください。
- 最初に黒い水が出ますが、一定時間通水後は通常通りご使用になれます。
- 水を止めて、水切れが悪い場合は、再び水を流ししばらく通水させフィルターカートリッジ内の空気を十分に抜いてください。
- ビルトインモデルのご注意  
蛇口を閉めていても浄水がポタポタと水切れが悪いことがございますが故障ではありません。水漏れ事故や破損を防ぐために浄水器本体内部の圧力を抜いている状態です、圧力が下がると自然に止まります。

## お手入れのしかた

- お手入れの際は、蛇口やFMボールバルブを閉めてから行ってください。
- 本体の外観の汚れは、中性洗剤で拭き取ってください。
- 固定バンドは、タワシ等で水洗いできます。
- 本体内側は、水洗いできます。  
※フィルターカートリッジは洗わないでください。  
※中性洗剤以外の化学雑巾、ベンジン、クレンザー、住宅用合成洗剤などは使用しないでください。(変色やキズの原因となります。)

## 正しくお使いいただくために

- この装置は、水道水としての基準に適した水を処理するためのものです。殺菌処理がなされていない井戸水や、成分不明の水を処理するためのものではありません。細菌汚染が考えられる水の場合には、必ず塩素消毒してからこの装置に通すようにしてください。
- 38℃以上の温水は通水させないでください。
- 高い所から落とさないでください。
- 火のそばなどでご使用しないでください。
- 10日以上ご使用にならない時はフィルターカートリッジを取り外しておくか、次にご使用になる前に安全を考慮して10分以上通水させてください。
- 寒冷地で長期間使用されない場合は水抜きを行い、凍結しないよう気をつけてください。

## お客さま相談室

☎ 0120-80-1711  
✉ info@multi-pure.co.jp

マルチピュアジャパン株式会社  
東京都杉並区上荻2-21-25 アズマビル3階 〒167-0043

<https://multipure.co.jp/>



# 裏【ビルトインタイプ】マルチピュア浄水器 フィルターカートリッジ交換方法

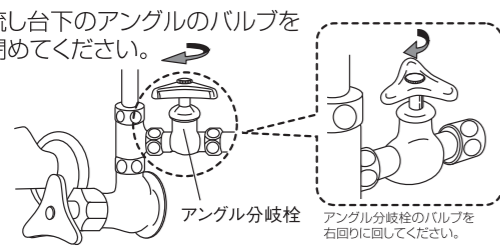
## Aタイプ

### ワンタッチジョイント式

浄水器本体と配管の接続部分がプラスチック製でワンタッチで取り外しができるタイプです。

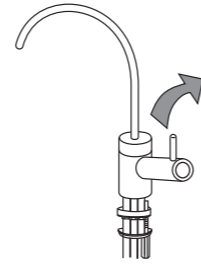
#### ① アングル分岐栓を開める。

流し台下のアングルのバルブを開めてください。



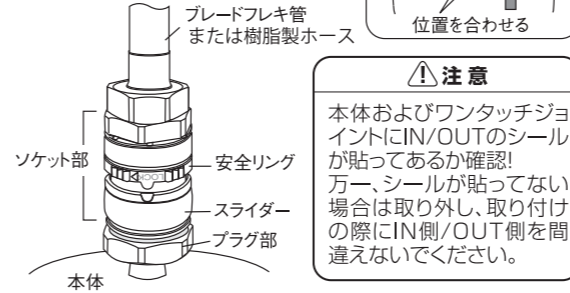
#### ② 水の出ないことを確認する。

専用水栓のレバーを開き、水が出ないことを必ず確認してください。確認後は、レバーを閉めて作業をしてください。



#### ③ ワンタッチジョイントのロックを解除する。

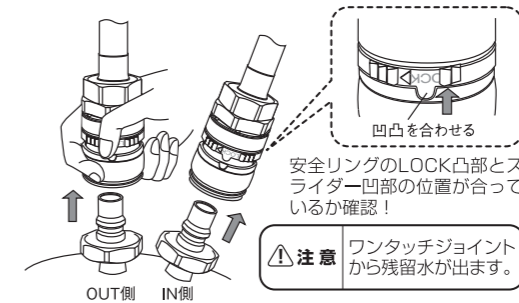
安全リングを回してLOCK凸部をスライダの凹部に位置合わせをしてください。(IN側・OUT側も同様な手順で行ってください。)



**注意**  
本体およびワンタッチジョイントにIN/OUTのシールが貼ってあるか確認! 万一、シールが貼っていない場合は取り外し、取り付けの際にIN側/OUT側を間違えないでください。

#### ④ ワンタッチジョイントを取り外し、本体を流し台の中に移動させる。

スライダを上にあげ、そのままワンタッチジョイントのソケット部を本体からOUT側→IN側の順番で取り外します。(IN側・OUT側も同様な手順で行ってください。) 取り外した本体は、流し台の中に移動してください。

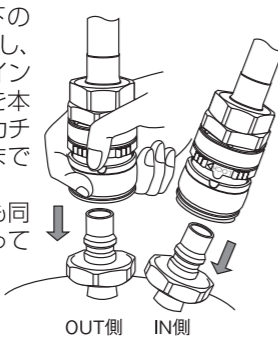


表面の③〜⑤をご覧ください。

Aタイプ 表面⑨の続き

#### ⑤ ワンタッチジョイントを本体に取り付ける。

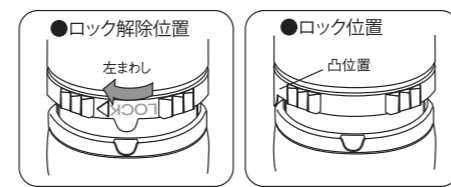
本体を流し台下の元の位置にもどし、ワンタッチジョイントのソケット部を本体に真上から「カチッ」と音がするまで差し込みます。(IN側・OUT側も同様な手順で行ってください。)



**注意**  
●差し込む際に、スライダは引き上げない!  
●IN側とOUT側の取り付けを間違えない!

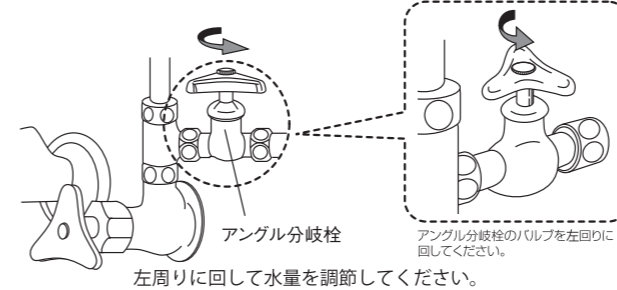
#### ⑥ ワンタッチジョイントのロックをかける。

安全リングを左に90度「カチッ」と音がするまで回し、ロックをかけてください。(IN側・OUT側も同様な手順で行ってください。)



#### ⑦ アングル分岐栓開ける。

締めたアングル分岐栓のバルブの栓を開けて通水させてください。



#### ⑧ 20分以上通水させる。

20分以上通水させて、内部にたまった空気を出すと同時に、フィルターカートリッジに水を浸透させます。

**注意**  
すべての接続部から水漏れがないか確認!



(モデルによっては専用水栓の形状が図と異なる場合もあります。)

**注意**  
フィルターカートリッジ交換後は水切れが悪くなる場合があります。使用経過にてフィルターカートリッジに浸水が進み、本体、ホース内部の空気が押し出されて軽減されていきます。本体や専用水栓の故障ではありません。一晩中ぼたぼた止まらない場合は内部バルブの磨耗が考えられます。その際はお問い合わせください。  
フリーダイヤル 0120-80-1711

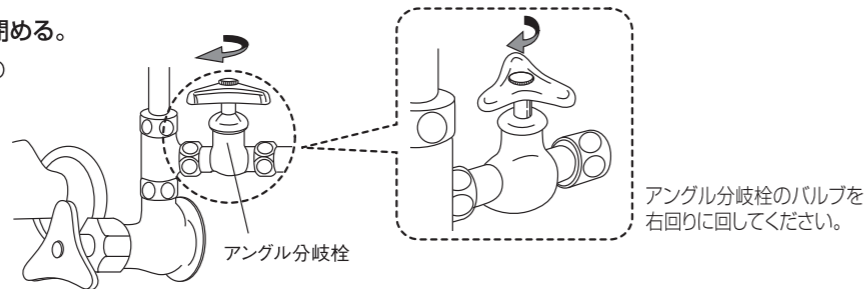
## Bタイプ

### その他 Aタイプ 以外のすべてのタイプ

本体上部にホースを接続したまま、シンク下で交換作業を行います。

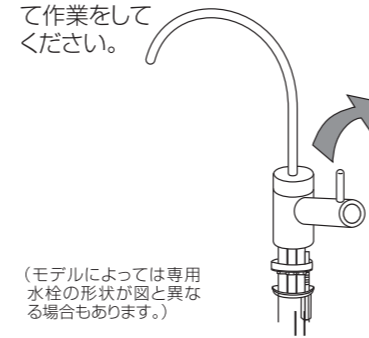
#### ① アングル分岐栓のバルブを開める。

流し台下のアングル分岐栓のバルブを開めてください。



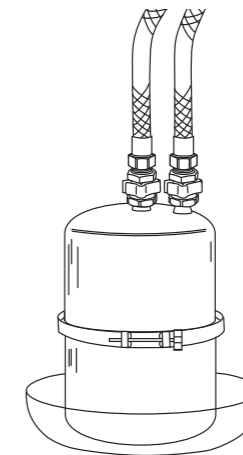
#### ② 水の出ないことを確認する。

専用水栓のレバーを開き、水が出ないことを必ず確認してください。確認後は、レバーを閉めて作業をしてください。



#### ③ 浄水器本体の下にボールを置く。

浄水器内部の滞留水がこぼれますので、水を受けるボールなどを必ず浄水器本体の下に置いてください。

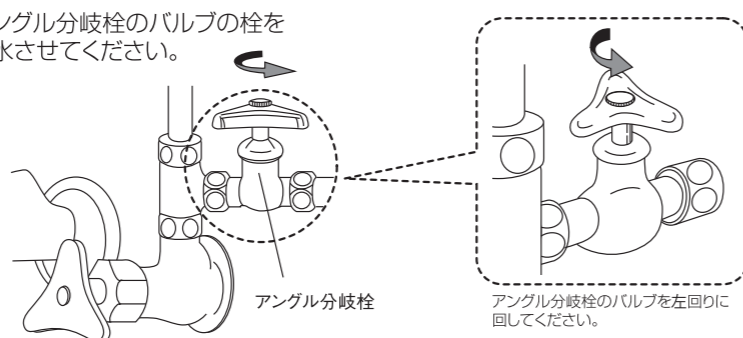


表面の③〜⑤をご覧ください。

Bタイプ 表面⑨の続き

#### ④ アングル分岐栓開ける。

締めたアングル分岐栓のバルブの栓を開けて通水させてください。

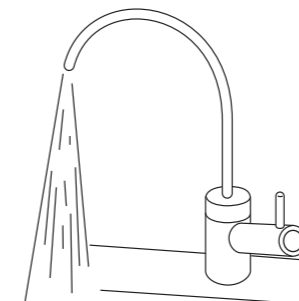


#### ⑤ 20分以上通水させる。

20分以上通水させて、内部にたまった空気を出すと同時に、フィルターカートリッジに水を浸透させます。

**注意**  
すべての接続部から水漏れがないか確認!

(モデルによっては専用水栓の形状が図と異なる場合もあります。)



**注意**  
フィルターカートリッジ交換後は蛇口を閉めていてもポタポタと水切れが悪くなる場合がございますが、故障ではありません。この動作は水漏れ事故や破損を防ぐため浄水器本体内部の圧力を抜いている状態です。使用経過にてフィルターカートリッジに浸水が進み、本体、ホース内部の空気が押し出されて軽減されていきます。一晩中ぼたぼた止まらない場合は内部バルブの磨耗が考えられます。その際はお問い合わせください。  
フリーダイヤル 0120-80-1711